

第5回自由を求める国際デモ行進開催

弾圧下のマイノリティー解放をめざして

2012年10月13日(土) 午後3時より

バルセロナ、ブリュッセル、ベルリン、パリ、ローマ

無党派独立系の自由文化協会SOCIETA' LIBERA（自由な社会）は、個人の人権や国民の自己決定権を推進し、自由の原則を守るための活動を行っております。

自由主義を提唱するSOCIETA' LIBERA（自由な社会）は、国民が主権を持ち中心的な役割を担うこと、また人間として当然の権利を持つことを主張し、自由を求める国際デモ行進を過去5年間にわたり実施してまいりました。このデモ行進は、弾圧下にある少数民族や人々の自由を守るため、世論を活発化させるために行うサイレントデモです。

世界中での人権侵害が悪化する状況を見ると、一般的な連帯活動や個別の問題にだけ焦点を当てたデモでは十分とは言えません。

このような問題を懸念する人々でヨーロッパの広場を埋め尽くす時がきたようです。何億人もの人々が置かれた状況に対して西洋社会全体が行動を起こし問題意識を高めましょう。欧州の機関や国際団体は、世界の少数民族を防衛する立場をとるべきです。

今こそ、弾圧下にある少数民族や人々の自由をめざすヨーロッパ人・デーを制定し祝う時です。

これらの目的のために、SOCIETA' LIBERA（自由な社会）はヨーロッパ中の人々、弾圧下にある少数民族や人々のコミュニティ、報道機関に対して訴えかけ、広く一致団結した運動を興し、人権保護が国際的優先事項である事を周知してまいります。

人権保護のための運動を5都市で同時開催